



日新小だより

<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu22s>

令和7年9月1日(月)

9月号

府中市立日新小学校

校長 山田 隼土

この夏に学んだこと・考えたこと

校長 山田隼土

「なんのために生まれて、なにをしながら生きるのか。見つかるまで、もがけ。必死でもがけ。」
「人生は喜ばせごっこや。」「絶望の隣は希望じゃ。」「こじゃんと(たくさん)絵を描け。好きなものはやればやるばあ、こじゃんと好きになる。」

これらの言葉はNHK連続テレビ小説「あんぱん」のセリフの一部です。「あんぱん」とは“アンパンマン”を生み出したやなせたかしさんと暢さんの夫婦をモデルに、“逆転しない正義”を体現した『アンパンマン』に辿り着くまでを描いたドラマです。

私は、アンパンマンが大好きな娘の影響を受け、この連続テレビ小説を見ていますが、胸が熱くなる場面に何度も出合いました。



また、やなせたかしさんといえば、5年生の教科書にも掲載されており、筆者の梯久美子さんが書いた伝記「勇氣の花がひらくとき」や「やなせたかしの生涯—アンパンマンとぼく」を読みました。

「戦争ほど残酷なものはない。戦争ほど悲惨なものはない。」
今年の夏は戦後80年の節目の年でもあり、戦争について考える機会が多くありましたが、やなせさんも戦争を経験した一人です。戦時中は軍国主義で、学校でも戦争を推進する教育が行われていました。しかし、戦後その価値観は180度変わります。

「ある日を境に、ひっくり返ってしまう正義なんて、そんなものが本当の正義と言えるのだろうか。」自問するやなせさんはある日、幼い兄弟がおにぎりを分け合い幸せそうに笑っている姿を見かけます。そして「本当の正義とは、おなかがすいている人に、食べ物を分けてあげることだ。」と気が付くのです。

「正義を行い、人を助けようとしたら、自分も傷つくことを覚悟しなければならない。」「自分の食べ物をあげてしまったら、自分が飢えるかもしれない。いじめられている人をかばったら、自分がいじめられるかもしれない。それでもどうしても誰かを助けたいと思うとき、本当の勇氣が湧いてくるんだ。」これがアンパンマンを描いたやなせさんの信念です。

なんのために生まれて
何をして生きるのか
答えられないなんて
そんなのはいやだ
今を生きること 熱い心燃える
だから君はいくんだ ほほえんで
そううれしいんだ 生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも
「アンパンマンのマーチの一節より」

この夏、私はやなせたかしさんの生き方・考え方から多くのことを学びました。皆さんはこの夏どのような学びがあったでしょうか。

さあ、44日間の夏休みが明け、79日間の2学期がスタートしました。子供たちの成長ため、「チーム日新」として教職員一同頑張ってまいります。

保護者・地域の皆様、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

ひばり教室（特別支援教室）ってどんな教室？

巡回指導教員 5 名が日新小学校を拠点校として、日新小と四谷小で指導をしています。
現在、2 校で 65 名の児童が週 1、2 時間程度校内のひばり教室に通室し学習しています。



【ひばり教室での学習について】

学校や学級で自分自身の良さをを出して頑張ることができるように、個別学習や小集団学習での学習形態で、周りの人との上手なかかわり方や落ち着いて学習に取り組むコツなどを学んでいます。

《個別学習》

児童と教員が 1 対 1 ※で学習しています。児童の実態や発達段階に応じた学習（ソーシャルスキル、聞くことや話すこと、運動、読み書き等）を行います。

※基本的には 1 対 1 の指導ですが、状況により 2 対 1 で行うことがあります。

《小集団学習》

児童それぞれの指導目標に合わせたグループ編成を行い、複数の児童でソーシャルスキル等を学びます。

基礎グループ

学校におけるルールやマナー、自分の体の動かし方、人によりよくかかわるための言葉や方法等を知ること、人とかかわる経験や「感覚・感情」を表出する経験を通して「人とかかわる土台」を養うことを中心に学んでいます。

実践グループ

人とかかわるを楽しむ、相手を意識して体を動かす、自分の感情を適切に相手に伝える、他者の感情に気付く等のことを中心に学んでいます。

【ひばり教室が大切にしていること・願い】

ひばり教室で学んだことを日常生活の中で活かせるように、保護者の方や在籍学級の先生と連携を大切にしています。日々のどんな出来事でもたくさん聞かせていただき指導に生かしています。

子どもたちが、友達とうまくかかわることができるようになったり、困ったときに助けを求めることができるようになったりすることで、日常生活が過ごしやすくなることを願っています。

☆特別支援教室ひばりを利用するためには、いくつかの手続きや検討会を経る必要があります。
まずは学級担任にご相談ください。

☆教室説明会のお知らせ☆

特別支援教室ひばりの説明会を以下の日程で行います。入室をご検討中の方はもちろん、「どんなサポートがあるか知りたい」「子どもに合った学び方を考えたい」と考えの保護者の皆さまにも、ぜひご参加いただければと思います。

日時 9月20日（土）10：30～（学校公開日）

※説明は 20 分程度です。その後、個別にお話できる時間を設ける予定です。

場所 日新小学校 西校舎 1 階プレイルーム

※参加ご希望の方は右記に記載の QR コードから

お申し込みください。

締め切り…9月10日（水）



習熟度別算数

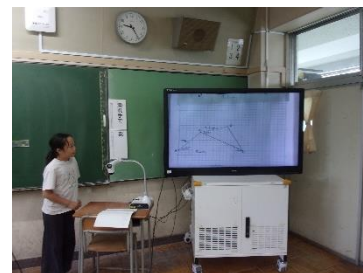
算数科担当 齋藤 華苗子

3～6年の算数授業は、担任＋算数科担当で習熟度別学習を行っています。各クラスで必要に応じて、前学年の学習内容を復習したり、発展問題に挑戦したりしています。今年度も振り返り活動を重視すると共に、グループ学習を通して自分の考えを相手に説明する活動にも力を入れています。5年生の「合同な図形」の学習では、図形の既習事項を踏まえた上で、合同な三角形の描き方を考えました。グループ



で考え方を伝え合う場面では、指で示しながら手順を追って一生懸命に伝えようとしていたり、説明している友達のノートをよく見ながら理解しようと聞いていたりしていました。話し合いの中で、大切だと感じたことは、自分からメモを取る姿も見られるようになってきました。

時々ご家庭でもお子さんの算数のノートを見て、ぜひ褒めていただきたいと思います。また、引き続き家庭学習のご協力をよろしくお願いします。



自転車教室（3年）

担当 仲村 美紀

7月15日（火）に、交通安全教室として、自転車教室を行いました。府中警察署と、四谷駐在所の方にお越しいただき、ご講話いただきました。

講話では、自転車の正しい乗り方や点検のポイントについて教えていただきました。自転車用ヘルメットと工事用のヘルメットの違いや、歩道と路側帯の違いなどについて学びました。

自転車に乗る前の点検のポイントは、「ブ・タ・ハ・シャ・ベル」です。ブレーキ・タイヤ・ハンドル・車体・ベルの点検の仕方について自転車を使って確認しました。自転車は簡単に乗ることができる乗り物ですが、危険も多いということについて動画を通して改めて学びました。



いじめ予防授業（5年）

担当 辻 彩佳

7月15日（火）に、いじめに関する授業として、弁護士の方に来ていただきました。「人権とは」をテーマに、人権の意味や実際にあったいじめのお話を基にお話を聞きました。人権とは、「自由」「自信」「安心」が守られることであり、この世にいるすべての人が持っているものであると教えていただきました。また、いじめによりなくなってしまった小学校6年生の少女の手紙から、いじめは些細なきっかけから始まってしまうこと、たった一言でも積み重ねによって心に傷が入ってしまうことを教えていただきました。

話を聞いて、子供たちは、「見て見ぬふりをするのではなく、とめる人になりたい。」「何も考えなしに言葉を言ってしまういけない。」と振り返りました。

